

平成23年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	研究会出席学者旅費事業		担当部局庁	国際法局			作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度		担当課室	国際法課			課長 三上 正裕		
会計区分	一般会計		施策名	国際法の形成・発展に向けた取組に必要な経費					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第5, 6項		関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際法上の問題の多くについては先例が多くないのにもかかわらず、限られた時間内に解決策を提示する必要がある。こうした問題に対応するには、日頃から各分野に造詣の深い国際法学者を招き、あるべき法解釈について意見を聴取し議論することが重要であり、各分野を専門とする学者に關係の研究会に参加してもらうための旅費である。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際的に生じた国際法上の様々な問題点につき専門家の助言を得つつ議論を行い、蓄積した知見は、我が国の国際法に關係する政策の企画・立案を行う際の大きな財産である。また、その時々直面する課題への対処のみならず長期的に、国際法局の専門性を高めることにも大いに役立っている。								
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	0.9	0.7	0.7	0.5	0.6		
	執行額		0.7	0.4	0.1				
	執行率(%)		71.50%	52.20%	18%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	国際法の各分野の学者から法解釈について意見交換及び議論を行なっている。国際法研究会等の増進、増進。			成果実績	資料件数	9	8	4	12
				達成度	%	75	67	33	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)					単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国際法の様々な問題点について、国際法の各分野の専門家より助言を得て、国際法の政策の企画立案に役立っている。			活動実績 (当初見込み)	出張件数	17	21	9 ()	— (12)
単位当たりコスト	コスト 一件あたり77,000円			算出根拠	年間金額(70万)÷件数(9件)				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	旅費(国内)	549	528						
計	549	528							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	目的については効率的・適切に行われているも、当初予定していた出張ができなかった等の理由により、予算の執行率は低かった。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	△	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	特になし。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	各分野の国際法学者と意見交換等により国際法の専門性を高めた。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	国際法の各分野の学者から意見交換及び情報収集等により国際法の専門性を高めることに大変貢献している。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

外務省
0.1百万円

研究出席学者への出席要請

【国際法研究者等】



国内旅費(交通費, 日当, 宿泊料:9名)
0.1百万

国内研究会出席のための旅費

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有識者A	国際法関係研究会	0.029		
2	有識者B	国際法関係研究会	0.028		
3	有識者C	国際法関係研究会	0.023		
4	有識者D	国際法関係研究会	0.023		
5	有識者E	国際法関係研究会	0.022		
6	有識者F	国際法関係研究会	0.002		
7	有識者G	国際法関係研究会	0.002		
8	有識者H	国際法関係研究会	0.002		
9	有識者I	国際法関係研究会	0.002		
10					